

2016年「障害者」週間 11月13日(日)～19日(土)

「障害者」週間の集い

命の大切さを見つめて

- 「ヘイトクライム」と「障害者殺傷事件」を乗り越えて -



発題 1 金迅野さん (在日大韓基督教会横須賀教会牧師・日本キリスト教協議会書記)

発題 2 中村雄介さん (NCC「障害者」と教会問題委員会委員)

日 時 : 2016年11月19日(土)11時～15時

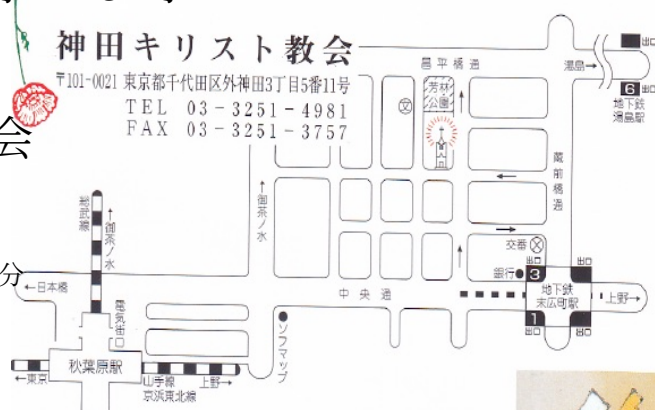
参加費 : 1,000円(昼食代含む)

場 所 : 日本聖公会神田キリスト教会

千代田区外神田 3-5-11

東京メトロ銀座線 末広町 3・4番出口 徒歩 2分

JR線 : 秋葉原駅 電気街口徒歩 7分



手話通訳、点字資料の必要な方は、ご連絡下さい

申込み・問合せ先 : 橋本克也(日本聖公会司祭・池袋聖公会)

03-3983-1551 (Fax 兼用)、携帯 090-5008-8006

主 催 : NCC「障害者」と教会問題委員会

スケジュール

- 11:00～11:30 開会の挨拶
開会礼拝・説教
- 11:30～12:00 発題1 金迅野(キムシンヤ)牧師
- 12:00～12:45 昼食
ピアノ演奏
- 12:45～13:15 発題2 中村雄介委員
- 13:15～14:40 質疑応答
全体討議
- 14:40～15:00 閉会礼拝

「障害者」週間の集いのごあんない

NCC「障害者」と教会問題委員会は、1981年の「国際障害者年」以来、毎年11月の第2聖日の週を「障害者」週間として呼びかけています。今年は11月13日(日)～19日(土)の一週間になります。11月19日(土)には、『障害者』週間の集いを開催致します。

神の愛といつくしみによって、すべての人は尊い命を生かされています。私たちが互いを真に尊重し、偏見や差別から解放されることは、主のみ心であり、真の愛と平和の共生の道でしょう。今日ようやく進められてきた、「障害者権利条約」や、「差別解消法」などへの取り組みは、なお前進させて行かなければならない日本社会の大切な課題です。

先の障害者施設での惨忍な殺傷事件は、深い悲しみと驚きの出来事でした。この事件について、当委員会委員の中村雄介さんが発題します。今こそ、私たちは、命の尊さを互いに確認し、声を発して訴え分かち合わねばならない時であると思います。

また今回は、今、日本と海外の教会とともに「マイノリティ宣教センター」設立に向けて奔走しておられる方々のお働きも伺い、その思いを共有いたします。「ヘイトを容認、また黙認すると、それが障がい者に対してであれ、民族的少数者に対してであれ、また高齢者に対してであれ、またどんな種類のマイノリティに対してであれ、最後に何が本当に起こるのかを、この度の事件は私たちに暗示しているように思われます。」

祈りを共にして、語り会いましょう。

どうぞ皆さんのご出席をお願い致します。

祈り

神さま、私達みながイエス・キリストの体である教会の交わりに共に招かれていることを感謝致します。あなたから計り知れない命の恵みを与えられながら、差別しあったり、偏見をもって互いを受け入れることができずにいます。権力や武力などの強さに頼り、経済優先の考え方によって人間の価値を決める社会や教育、偏見やゆがんだ習慣を作りだしてしまっている罪をお赦しください。どうか私達があなたのみ言葉に従い、声なき声にも真に耳を傾け、互いに聴き合い、差別のない社会を作り出してゆくことができますように。知恵と勇気と信仰をお与えてください。ことに「障がい」を負う人々と共にイエス・キリストの和解と平和の福音を伝え、全ての人々が生きる喜びを見出すことのできる社会を作って行くことができますように。私達の主イエス・キリストのみ名によってお祈りいたします。アーメン。

NCC「障害者」と教会問題委員会

委員長 日本聖公会 司祭 アンデレ橋本克也